

草津北支部
さくら班

地域の中に人と人が
つながる場(班)がある

「さくら班」結成 10 周年 ＝班会は 50 回目＝



さくら班の素晴らしい
とろはっ

草津北(波紋)支部のさくら班が班会結成10周年を迎えました。同時に、2か月に1度草津市野村の班長さん宅に集まって開催している班会も50回を越えました。結成当初から、介護や医療の学習はもちろん、災害時の避難経路を実際に歩いてみたり、施設見学やウォーキング、陶芸体験、新年会やお食事会、みずの森公園できれいな花に囲まれてお弁当を食べたり、多種多彩な内容で多くの職員も一緒に過ごしてきました。

「さくら班の素晴らしいところは？」と参加者の皆さんに尋ねると、「結成当初からの班員の皆さんがお元気なこと」「ほとんどの方が近所さんで、子どもさんの巣立ちや家族の介護、相方さんを見送られた方もあり、いい距離感で互いの健康や生活を気遣いながら暮らしている」とのお答えに、医療生協の原点を見る思いです。同時に「歯に衣着せぬ」おしゃべりとコロナ禍にビクともない繋がりやの強さは、多くの班会のお手本になるさくら班の活動だと思っています。

11月25日の班会には、波紋支部長もお祝いに駆けつけてもらい、「祝10周年」とかかれた素敵な菓子盆などがプレゼントされました「上等新お菓子を出さないとおあんな！」と班長さん。素敵なお盆もせっかくだから班員さん

宅に順番に持ち回りで使おうかと大笑い。

今回のテーマは「生き生きと楽しく生きるには」・・・難しいテーマですが、皆さんと大笑いしながら考えたいと思います。

(しが健康医療生協)

生協本部 池内智子

私の生甲斐

フクロウ



フクロウの夫婦

豆びな

坂本 美代子 (91 歳)

この作品は、お世話になった方々のひとときの癒しとなり、一瞬のほほえみを頂ければ、私の至上の喜びであり生甲斐なのです。これからも元気でがんばりたいと思います。合掌

75 歳以上医療費窓口負担 2 割化に反対する請願署名と、アンケートにご協力ください。

しが健康医療生協

政府・与党は、75 歳以上の医療費窓口 2 割負担の対象者を「年収 200 万円以上」とすることで合意し、2022 年度後半の実施に向け、次期国会に法案を提出するとしています。

しが健康医療生協では、「75 歳以上医療費窓口負担 2 割化に反対する請願署名」の取り組みを、組合員のみなさんにご協力を呼びかけます。同時に、アンケートも織り込んでありますので、よろしく願います。

署名用紙とアンケートにつきましては、お名前など必要な事項をご記入いただき、ほほえみに入れてあります返信用フットにて、こびらい生協診療所までお送りください。

直接、診療所持ってきてもらってもいいです。